

NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室

TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665

## NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク) 設立総会を開催



NSネット理事長に選任された(株)三菱総合研究所の牧野昇相談役



設立総会会場の様子



ご来賓の原子力安全委員会  
佐藤一男委員長

昨年12月9日、東京都千代田区の都市センターホテルにおいて、NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)の設立総会が開催されました。

原子力産業界の35の企業・研究機関で構成されるNSネットは、昨年、茨城県東海村で起こった(株)ジェー・シー・オー東海事業所での臨界事故の反省を踏まえて設立されたネットワーク組織で、原子力産業界全体の安全意識の向上や、安全文化の共有化およびレベルアップを活動の目的にしています。参加会員全てが対等の立場にたって「安全文化の普及」「安全面に関する会員間の相互評価(ピアレビュー)」「安全に関する情報交換・発信」などの活動を行っていく予定です。

本総会では、まず当団体の設立発起人の一人である電気事業連合会の太田宏次会長より、設立までの経緯が説明されました。その後、理事長に(株)三菱総合研究所の牧野昇相談役を選任したほか、理事など計13名の役員が選任されました。また、ご来賓には原子力安全委員会の佐藤一男委員長をはじめ7名の方に臨席していただきました。

NSネットは、これを機に今後、原子力に対する信頼回復に向けて、さらなる原子力産業界全体の安全性向上に取り組んで行く所存です。

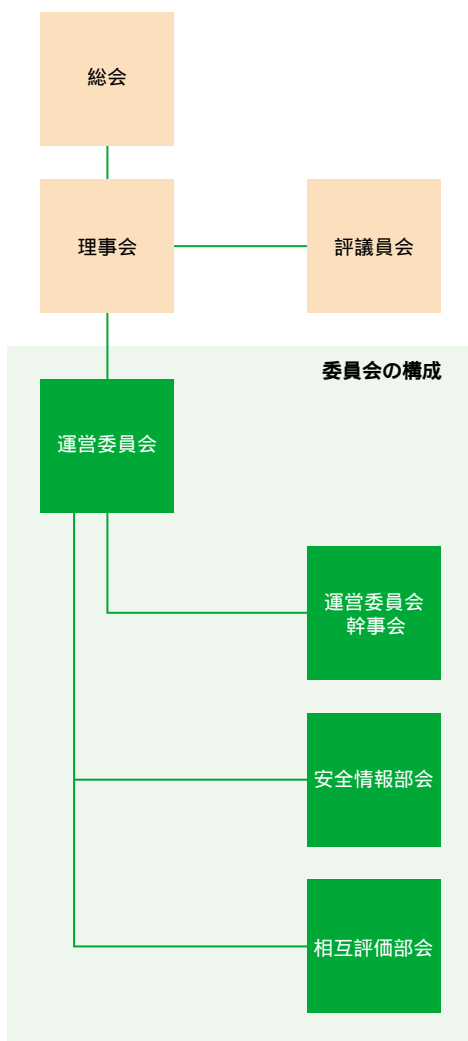


設立発起人の一人である  
電気事業連合会太田宏次会長

# 第1回理事会を開催

2月4日、東京都千代田区の経団連会館において設立後初めてとなる、第1回理事会が開催されました。本理事会では、NSネットの運営および活動全般について審議・検討を行う運営委員会の設置や、事務局組織の構成が決められました。そのほか、今後の事業計画や平成11年度収支予算および会費などについても審議、決定されました。また原子力安全のネットワークをモチーフとしたロゴマークなどについての報告が行われました。

NSネットの運営組織図



第1回理事会の様子

## 委員会の目的と構成

### 運営委員会

**目的:** 総会・理事会決定に基づき、NSネットの運営および活動全般について審議・検討を行うための会議体として、理事会の下に設置。

**構成:** 原則、NSネット参加全会員より選出された委員35名で構成。

### 運営委員会幹事会

**目的:** 運営委員会を円滑に運営するための事前検討・審議を行うことを目的として設置。

**構成:** 運営委員会の委員15名程度で構成。

### 安全情報部会

**目的:** NSネットの安全文化普及活動および情報交換・発信活動を効果的かつ円滑に推進するため、各種施策の専門的な検討・審議を行うための会議体として、運営委員会の下に設置。

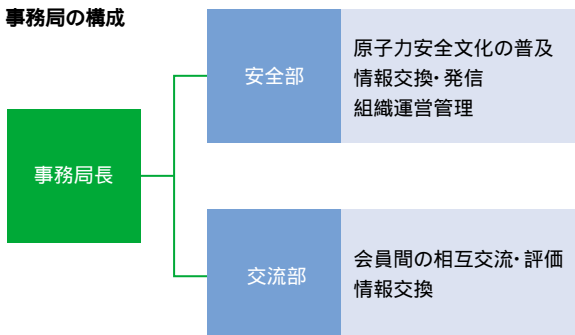
**構成:** NSネット参加会員より選出された委員15～20名で構成。

### 相互評価部会

**目的:** NSネットの相互評価活動を効果的かつ円滑に推進するため、各種施策の専門的な検討・審議を行うとともに、活動が適切かつ公正に実施されていることを適宜評価するための会議体として、運営委員会の下に設置。

**構成:** NSネット参加会員より選出された委員15～20名で構成。

事務局の構成



## NSネットの事業計画

	平成11年度				平成12年度		
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総会、理事会 評議員会 (カッコ内は主な審議事項)	設立総会 (役員、規約、事業基本計画)		理事会 (H11年度事業計画、 H11年度収支計画)		理事会 / 総会 (H12年度事業計画、H12年度収支計画)		
安全文化普及活動	パンフレット作成 各種セミナー計画作成 安全教育・研修キャラバン計画作成 他機関との共催セミナー(随時)				▲ トップセミナー 各階層ごとのセミナー開催 ▲ 安全教育・研修キャラバン(会員事業所)		
相互評価(ピアレビュー)	相互評価準備 ▲ 予備調査 ▲				▲ 第1回 相互評価 (燃料加工事業所から開始予定) ▲ 第2回 相互評価 ▲ 第3回 相互評価		
情報交換・発信	ホームページ開設 ▲ トラブル情報収集・発信システムの検討 ヒューマンファクターデータベースの検討				▲ システム構築		

### 安全文化普及活動

4月に予定している理事会・総会の機会に総会参加者に加え会員の事業所長級を対象としたトップセミナーを開催するとともに、これを始めとした平成12年度セミナー計画を立案します。

また、参加各社における安全文化普及活動を支援するため、各事業所を訪れ、安全講演や相互に利用可能な安全教育・研修教材を周知・収集する「安全教育・研修キャラバン」の実施計画を立案しま

す。

### 相互評価の準備

相互評価の実施要領、評価基準、実施計画等を検討し取りまとめます。評価基準は、WAN0の手法、IAEAのOSARTガイドライン等を参考に立案します。また、レビューア選任、研修および国内外施設の予備調査を実施します。

なお、第1回の相互評価は平成12年4月中旬に実施することを目標に、当面燃料加工3事業所から開始する計画です。

### 情報交換・発信

NSネットのホームページ上で、NSネットの活動状況やトラブル情報などを掲載する予定です。また、安全教育・研修キャラバンにて収集した各社の教材等を、会員がネット上で活用できるようシステムを拡充していきます。

### 新ロゴマーク



原子力安全のネットワークをイメージしたデザインで、3つの輪は、NSネットの主要業務である「原子力安全文化の普及」「会員間の相互評価」「原子力安全に関する情報交換・発信」を表しています。

### 活動実績

2月14日、原子動力研究会「JCO事故を考える会」((社)日本原子力産業会議主催、NSネット協賛)を開催し、梅津事務局長がNSネットの設立と活動について説明しました。また、3月17日には講演会「原子力の信頼回復への道」((社)火力原子力発電技術協会主催、NSネット協賛)を開催、同事務局長が安全文化の醸成について講演しました。その他、4月に実施するトップセミナーや第1回相互評価の準備を進めています。

### NSネットが掲載された新聞・雑誌の記事

日付	メディア	内容
99.12.21-27	「電気新聞」	リレー連載記事(4回)
00.3.1	「原子力eye」3月号	「インタビューこの人に聞く」牧野理事長
00.3.1	「科学技術ジャーナル」3月号	「NSネットの設立」
00.3.10	「実業の日本」4月号	「NSネットの設立」



「原子力eye」3月号



パンフレット

## パンフレットを発行

NSネットの設立にあたり、組織案内パンフレットを発行いたしました。内容は牧野昇理事長からの設立挨拶と事業の概要、そして会員及び役員、事務局の一覧などから構成されています。

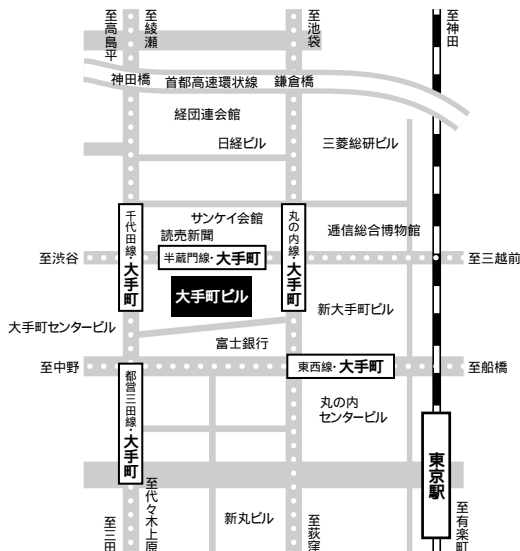
## ホームページ開設

NSネットのホームページを3月末より開設いたしました(ホームページアドレス:<http://www.nsnet.gr.jp>)。ここでは、原子力安全に関するトピックスやNSネットの概要、活動状況そして会員施設情報などを掲載しています。



ホームページ(アドレス:<http://www.nsnet.gr.jp>)

## 事務所へのアクセス



## 新事務所

東京都千代田区大手町の大手町ビル内に事務所を開設いたしました。当面は11名のスタッフで事務局を運営していきます。



事務所

## 今後の予定

NSネット主催の第1回セミナーとして、4月6日の理事会・総会時に会員経営層および事業所長級を対象としたトップセミナーを開催します。講師に東京大学の近藤敏教授、日本学術会議の吉川弘之会長をお招きし、原子力発電所の安全確保の考え方とウラン加工工場臨界事故調査委員会報告について講演していただく予定です。

相互評価は、当面燃料加工3事業所から開始し、実施結果は会員に報告するとともに、ホームページ等にて公開する予定です。



## NSネット(ニュークリアセーフティネットワーク)

NSネット(ニュークリアセーフティネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立されたネットワーク組織です。

## NSnet News No.1 2000年3月発行

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室  
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665  
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。  
<http://www.nsnet.gr.jp>